



実用品として落ち着いた雰囲気が漂う増沢塗の椀。幾つもの工程を経るため、完成までには数カ月を要する

Oshu Heritage

奥州遺産

No. 6

ときを越え
受け継がれるもの

増沢塗

旧衣川村増沢地区発祥

北股川上流にある増沢地区。ダム建設などで無人の里となったこの地では、かつて増沢塗が隆盛を極めていた。

増沢塗が産業として定着したのは、明治初期のこと。他県から漆器職人を招き、本格的な生産が始まった。主に作られたのは、冠婚葬祭で使われる膳や椀などの食器類。業者を介さない、「顔の見える」販売方法で信頼を獲得し、庶民の器として広く浸透してゆく。最盛期の正統時代には、販売額が村の予算に匹敵するほどの一大産業に発展。大正天皇即位記念の天盃の木地作成や、秀衡塗なども手掛けていった。

しかし、需用の減少やダム建設で、漆器の里は姿を消すこととなる。現在では、胆沢区に移り住んだ及川守男さんが増沢塗を伝える。そのような中、昨年、前沢区生母で漆の植栽が始まった。先人の思いを受け継いだ人たちの手で、漆器文化は継承されてゆく。

木と鉄の長所を合わせた第三の工法 パナソニック耐震住宅工法

テクノストラクチャー

選ばれるのは、地震に強い住まいです。

パナソニック電工の開発した「自動躯体設計システム」で全棟388項目*の構造計算を行っています。*多雪区域は440項目

パナソニックビルダーズグループ

高惣建設株式会社

〒023-0829 奥州市水沢区花園町一丁目1番7号
TEL:0197-22-3111 FAX:0197-22-3120

0120-516-812
http://www.takasou.net/



環境配慮

電気や水道の使用量を抑えた、省エネ設計の設備を採用
住まいまると、環境に配慮

最高等級

緻密な構造計算が証明する地震に強い家
最高等級の耐震等級

自由設計

構造強度がもたらす広々空間、可変設計
自由設計と選べるスタイル

*住宅性能表示で求められる条件に適合するかどうかパナソニック電工の構造計算によって確認した結果です。敷地条件やプランにより等級が変わる場合があります。

高惣建設

検索



※この広報紙は再生紙と植物油を使用しています。
※この広報紙は奥州市のホームページでもご覧いただけます。【本紙1部の印刷費用は約32円です。】